

主な製品の売上高の状況と見込み

製品名	2019年度 売上高(実績) (億円)	対前期 増減率	2020年度 売上高(見込み) (億円)	対前期 増減率
オプジーボ点滴静注	873	△3.6%	900	3.1%
グラクティブ錠	261	△3.1%	250	△4.1%
フォシーガ錠	181	24.7%	225	24.6%
オレンシア皮下注	198	13.8%	215	8.4%
リバスタッチパッチ	85	△4.2%	85	△0.3%
パーサピブ静注透析用	71	23.6%	75	6.1%
カイトロリス点滴静注用	60	21.9%	65	8.4%
オノアクト点滴静注用	49	6.2%	60	23.4%
オパルモン錠	83	△19.5%	50	△40.0%
プロイメンド点滴静注用	26	3.0%	35	33.3%
イメンドカプセル	81	0.4%	35	△56.7%
オノンカプセル	35	△21.0%	30	△13.1%
リカルボン錠	47	△35.4%	20	△57.8%
新発売見込品	—	—	50	—

抗悪性腫瘍剤「オプジーボ[®]点滴静注」2つの効能・効果について承認取得

2020年2月に、抗悪性腫瘍剤「オプジーボ[®]点滴静注」は以下の2つの効能が追加承認されました。

1. 根治切除不能な進行・再発の食道がん
2. 治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)結腸・直腸がん

食道がんに対する承認取得は、免疫チェックポイント阻害薬では世界初となります。なお、今回の承認取得によって国内において承認された対象がん腫は9がん腫となりました。

引き続き、本剤の適応がん腫の拡大を目指し開発を進め、未だ治療手段がなく困っているがん患者さんにご使用いただけるように取り組んでまいります。

HCNチャネル遮断剤「コララン[®]錠」新発売

2019年11月に、慢性心不全の患者さんに対する新しい治療薬としてHCNチャネル遮断剤「コララン[®]錠」を新発売しました。本剤は、心臓の洞結節に発現するHCNチャネルを遮断することで、血圧に影響することなく心拍数のみを減少させる新しい作用機序の経口剤です。当社は、2011年9月にフランスの製薬会社 Servier社と本剤に関する契約を締結以降、日本における本剤の開発に取り組んでまいりました。コララン[®]錠は、既存の慢性心不全治療薬を服用しても安静時心拍数が75回/分以上の患者さんに対して、新たな治療手段になるものと期待されます。



BTK阻害剤「ベレキシブル[®]錠」製造販売承認取得

2020年3月に、「再発又は難治性の中枢神経系原発リンパ腫」の治療薬としてブルトン型チロシキナーゼ(以下、BTK)阻害剤「ベレキシブル[®]錠」の製造販売承認を取得しました。本剤は、当社が創製した選択性の高い経口BTK阻害剤であり、B細胞受容体の下流に位置するメディエーターのBTKを選択的に阻害することから、腫瘍細胞の増殖を抑制する効果が期待されています。なお、本剤は2019年11月に「原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫」を効能又は効果とした承認申請を行うとともに天疱瘡に対する開発も進めています。